

# AML 初発・進行期 AML 201 induction (IDR)

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 14日

目標: 1~2コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

使用薬剤: イダルビシン (IDR) : イダルビシン注 5mg/V

シタラビン (Ara-C) : シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※ 結核の既往症を有する患者には、isoniazid (INH) の予防的投与を行う。

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
イダルビシン	12 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~3
シタラビン	100 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1~7

## << タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月1日 (金)

時刻	①	②	③	④	薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
0時00分	①				生理食塩液 50mL				
					15分で点滴静注				
0時15分	②				生理食塩液 100mL			0mg	
					30分で点滴静注				
0時45分	③				生理食塩液 50mL				
					フラッシュ				
1時00分		④			生理食塩液 500mL			0mg	
					24時間で点滴静注			0.0ml	
-----									
Day 2	1月2日		(土)						
0時00分	①				生理食塩液 50mL				
					15分で点滴静注				
0時15分	②				生理食塩液 100mL			0mg	
					30分で点滴静注				
0時45分	③				生理食塩液 50mL				
					フラッシュ				
1時00分		④			生理食塩液 500mL			0mg	
					24時間で点滴静注			0.0ml	
-----									
Day 3	1月3日		(日)						
0時00分	①				生理食塩液 50mL				
					15分で点滴静注				
0時15分	②				生理食塩液 100mL			0mg	
					30分で点滴静注				
0時45分	③				生理食塩液 50mL				
					フラッシュ				
1時00分		④			生理食塩液 500mL			0mg	
					24時間で点滴静注			0.0ml	
-----									
Day 4~7	1月4日		(月) ~		1月7日		(木)		
0時45分	①				生理食塩液 50mL				
					15分で点滴静注				
1時00分		②			生理食塩液 500mL			0mg	
					24時間で点滴静注			0.0ml	
-----									
Day 8	1月8日		(金)						
1時00分	①				生理食塩液 50mL				
					フラッシュ				

## REFERENCE

Shigeki Ohtake, Shuichi Miyawaki, Hiroyuki Fujjita et al BLOOD 2011; 117: 2358-2365  
 Randomized study of induction therapy comparing standard-dose idarubicin with high-dose daunorubicin in adult patients with previously untreated acute myeloid leukemia: the JALSG AML201 Study  
 2011年7月度化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年7月11日 更新: 2016年2月8日